運用報告書（全体版）

ライジング・
トルコ株式ファンド

第17期（決算日　2019年９月３日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年４月１日から2021年３月３日まで	
運用方針	①トルコの株式に投資し、信託財産の成長を目指します。 ②トルコ株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。マザーファンドのトルコ株式の運用は、ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー（ロンドン支店）が行います。	
主要投資対象	ライジング・トルコ株式ファンド	ライジング・トルコ株式マザーファンド受益証券
	ライジング・トルコ株式マザーファンド	トルコ株式（ＤＲ（預託証書）を含みます。）
主な組入制限	ライジング・トルコ株式ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。 同一銘柄の上場投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。
	ライジング・トルコ株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。 同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ライジング・トルコ株式ファンド」は、このたび第17期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
URL https://www.sjnk-am.co.jp/
お問い合わせ先
TEL クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
13期(2017年９月４日)	9,181	0	26.5	88.0	－	4.8	2,803
14期(2018年３月５日)	8,460	0	△ 7.9	90.9	－	4.6	2,678
15期(2018年９月３日)	4,245	0	△49.8	89.3	－	3.9	1,321
16期(2019年３月４日)	5,740	0	35.2	93.7	－	0.7	1,731
17期(2019年９月３日)	4,914	0	△14.4	93.3	－	0.6	1,389

(注１) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注２) 基準価額及び分配金は１万口当たり（以下同じ)。
(注３) 株式組入比率、株式先物比率および投資証券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注４) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。
(注５) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

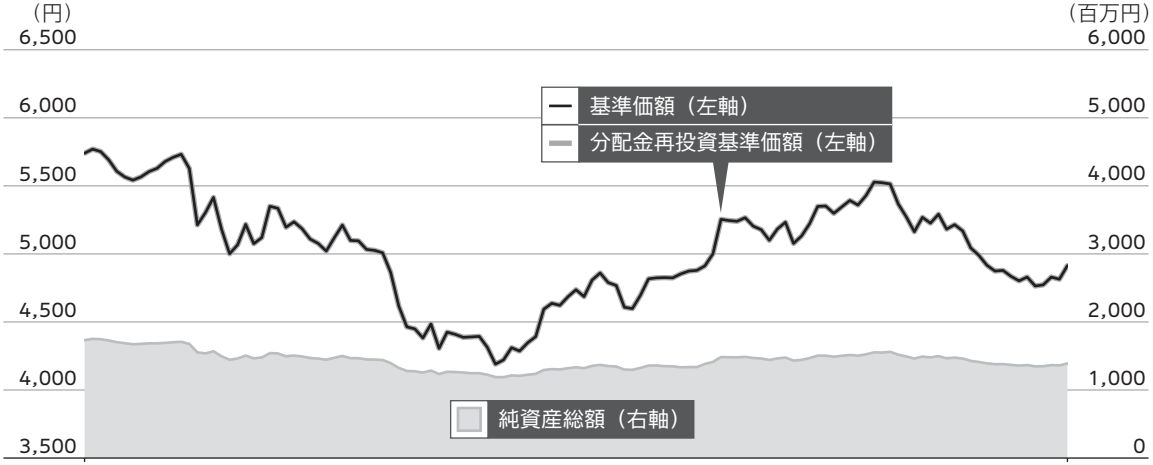
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率			
(期　首)	円	%	%	%	%
2019年３月４日	5,740	－	93.7	－	0.7
３月末	5,001	△12.9	92.5	－	0.7
４月末	4,863	△15.3	92.4	－	0.7
５月末	4,594	△20.0	92.6	－	0.6
６月末	4,912	△14.4	92.7	－	0.6
７月末	5,523	△ 3.8	94.3	－	0.6
８月末	4,830	△15.9	93.2	－	0.6
(期　末)					
2019年９月３日	4,914	△14.4	93.3	－	0.6

(注１) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
(注２) 株式組入比率、株式先物比率および投資証券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注３) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。
(注４) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

運用経過

基準価額の推移



第17期首	騰落率	第17期末
基準価額 5,740円	△14.4% （分配金再投資基準価額ベース）	基準価額 4,914円 （期中分配金合計０円）

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年３月４日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

基準価額の主な変動要因

ライジング・トルコ株式ファンド

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。

ライジング・トルコ株式マザーファンド

期中の騰落率は－13.9%となりました。トルコ株式市場が下落したことに加え、トルコリラが対円で下落したことが基準価額を押し下げました。

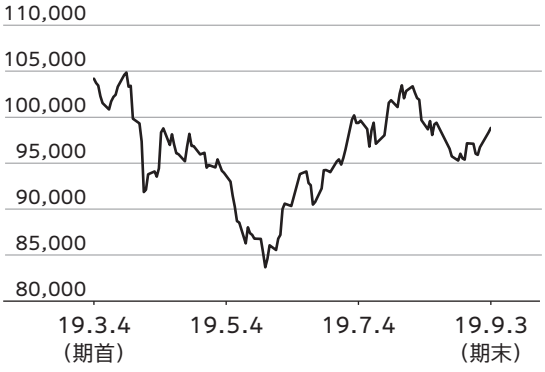
- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

投資環境

トルコリラの先安感が広がったことなどから、トルコ株式市場は2019年３月末にかけて大幅に下落しました。31日に行われた統一地方選挙では、エルドアン大統領が率いるAKP（公正発展党）を中心とした与党連合が首都アンカラやイスタンブールで野党に敗れる結果となったものの、トルコ全土の得票率では過半数を確保しました。５月初旬にAKP側が求めていたイスタンブール市長選挙の無効とやり直しが決定されたことを受けて、トルコの政治プロセスに不信感が高まり、トルコリラ、株式市場ともに下落しました。しかしその後は、原油価格の下落や、年金基金からの株式市場への資金流入期待、対米関係の緊張緩和期待、米国の利下げ観測を受けたグローバル株式市場の上昇等を背景に反発しました。６月23日に投開票となったイスタンブール市長再選挙では、野党候補が勝利を収め、短期的に政治面での不確実性に終止符が打たれました。７月の定例金融政策委員会では、主要政策金利である１週間物レポ金利を4.25%引き下げ、年19.75%とすることが発表されました。８月に入ると、米中貿易摩擦の更なる激化への懸念が高まり、トルコ株式市場は下落しました。

イスタンブール100種指数の推移



（出所：Bloomberg）

為替レートの推移

（出所：社団法人投資信託協会）

注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

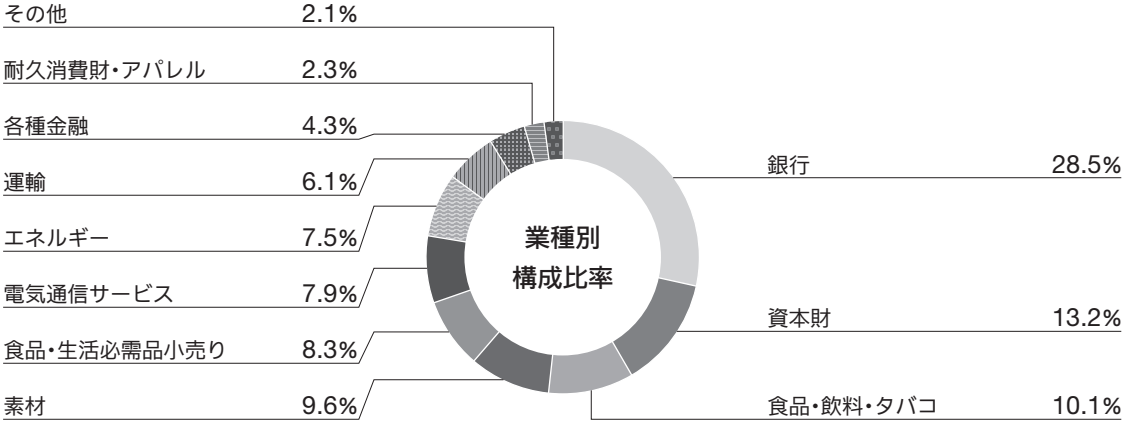
当該投資信託のポートフォリオ

期を通してライジング・トルコ株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、97.0%です。

ライジング・トルコ株式マザーファンド

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持し、期末の組入比率は96.8%となりました。

今期は、銘柄入れ替えを実施せず、概ね現状のポートフォリオを維持しました。



注１．比率は、第17期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注２．端数処理の関係上、構成比合計が100%にならない場合があります。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

分配金

基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳　（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第17期 2019.3.5～2019.9.3
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,620

注１．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注２．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注３．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果※をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。
　インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

今後の運用方針

ライジング・トルコ株式ファンド

今後もマザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。

ライジング・トルコ株式マザーファンド

トルコの先行きのインフレ期待が低下していることや、政策金利がインフレ率を上回っていることなどを背景に、トルコ中央銀行は、この先、追加の金融緩和策を打ち出すと予想しています。国際政治面では、米国がトルコのロシアからのミサイル購入には一定の理解を示したものの、シリア情勢については対立しているため、関係悪化が懸念されます。

中期的な視点においては、トルコ経済の高い成長モメンタムへの期待から、トルコ株式市場は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

1万口当たりの費用明細

期中の１万口当たりの費用の割合は 1.196% です。

項目	第17期 2019.3.5～2019.9.3 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	48円	0.961%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は4,953円です。
（投信会社）	（26）	（0.529）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（20）	（0.405）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.027）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b)売買委託手数料＝ 期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	（ 0）	（0.003）	
(c) その他費用	11	0.232	(c)その他費用＝ 期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（11）	（0.228）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 0）	（0.004）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	59	1.196	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2019年３月５日～2019年９月３日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ライジング・トルコ株式マザーファンド	29,480	19,000	184,091	119,770

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）金額は受渡代金。

○株式売買比率

（2019年３月５日～2019年９月３日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ライジング・トルコ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	60,093千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,448,131千円
(c) 売買高比率（a）／（b）	0.04

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注３）邦貨換算金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

（2019年３月５日～2019年９月３日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年９月３日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ライジング・トルコ株式マザーファンド	2,209,422	2,054,811	1,348,572

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

（2019年９月３日現在）

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
ライジング・トルコ株式マザーファンド	1,348,572	96.1
コール・ローン等、その他	55,340	3.9
投資信託財産総額	1,403,912	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）ライジング・トルコ株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産（1,460,271千円）の投資信託財産総額（1,490,451千円）に対する比率は、98.0％です。
（注３）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、１トルコ・リラ＝18.31円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年９月３日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,403,912,905
コール・ローン等	55,340,313
ライジング・トルコ株式マザーファンド(評価額)	1,348,572,592
(B) 負債	14,192,725
未払解約金	319,525
未払信託報酬	13,818,782
未払利息	141
その他未払費用	54,277
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,389,720,180
元本	2,827,826,475
次期繰越損益金	△1,438,106,295
(D) 受益権総口数	2,827,826,475口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	4,914円

（注１）信託財産に係る期首元本額3,017,227,452円、期中追加設定元本額192,768,940円、期中一部解約元本額382,169,917円
（注２）期末における１口当たりの純資産総額　0.4914円
（注３）期末における元本の欠損金額　1,438,106,295円

○損益の状況

（2019年３月５日～2019年９月３日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 23,017
支払利息	△ 23,017
(B) 有価証券売買損益	△ 208,110,009
売買益	24,420,853
売買損	△ 232,530,862
(C) 信託報酬等	△ 13,876,250
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 222,009,276
(E) 前期繰越損益金	△ 648,206,471
(F) 追加信託差損益金	△ 567,890,548
(配当等相当額)	(317,848,019)
(売買損益相当額)	(△ 885,738,567)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	△1,438,106,295
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	△1,438,106,295
追加信託差損益金	△ 567,890,548
(配当等相当額)	(318,236,655)
(売買損益相当額)	(△ 886,127,203)
分配準備積立金	139,925,102
繰越損益金	△1,010,140,849

（注１）有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
（注３）追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）ライジング・トルコ株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

（注５）分配金の計算過程（2019年３月５日～2019年９月３日）は以下の通りです。

項目	2019年３月５日～2019年９月３日
a. 配当等収益(費用控除後)	32,799,194円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	318,236,655円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	107,125,908円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	458,161,757円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	1,620円
g. 分配金	0円

ライジング・トルコ株式マザーファンド

運用報告書

第８期（決算日　2019年３月４日）

＜計算期間　2018年３月６日～2019年３月４日＞

ライジング・トルコ株式マザーファンドの第８期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。 運用にあたっては、トルコ株式等の運用指図に関する権限をユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー（ロンドン支店）に委託します。
主要投資対象	トルコ株式（ＤＲ（預託証書）を含みます。）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。 同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円	%	%	%	%	百万円
４期(2015年３月３日)	12,918	45.0	78.7	－	4.9	4,476
５期(2016年３月３日)	9,902	△23.3	92.1	－	6.2	2,856
６期(2017年３月３日)	9,322	△ 5.9	92.8	－	6.2	2,360
７期(2018年３月５日)	11,154	19.7	93.9	－	4.8	3,123
８期(2019年３月４日)	7,620	△31.7	96.4	－	0.7	1,862

（注１）基準価額は１万口当たり（以下同じ）。
（注２）株式先物比率＝買建比率－売建比率。
（注３）当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

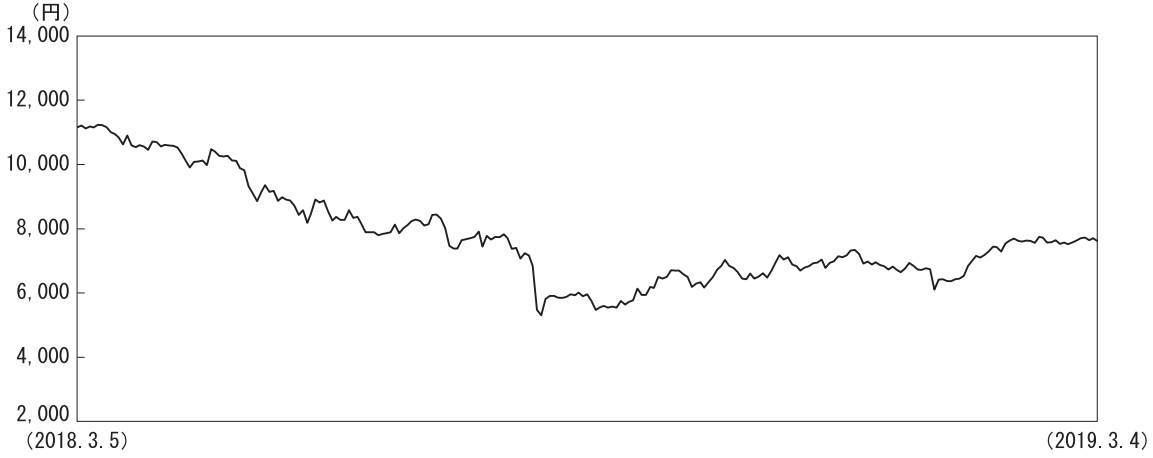
年月日	基準価額	騰落率	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	円	%	%	%	%
(期　首) 2018年３月５日	11,154	－	93.9	－	4.8
３月末	10,714	△ 3.9	91.9	－	4.5
４月末	10,117	△ 9.3	91.9	－	4.6
５月末	8,880	△20.4	89.6	－	4.4
６月末	8,236	△26.2	91.0	－	4.2
７月末	7,739	△30.6	90.9	－	3.7
８月末	5,472	△50.9	92.1	－	3.9
９月末	6,712	△39.8	92.8	－	3.6
10月末	6,617	△40.7	87.1	－	3.6
11月末	7,322	△34.4	92.0	－	1.9
12月末	6,734	△39.6	93.8	－	2.2
2019年１月末	7,630	△31.6	96.0	－	2.0
２月末	7,639	△31.5	96.3	－	0.7
(期　末) 2019年３月４日	7,620	△31.7	96.4	－	0.7

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。
(注３) 当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

（2018年３月６日～2019年３月４日）

■基準価額の推移



期首：　11,154円
期末：　 7,620円
騰落率：△31.7%

■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は－31.7%となりました。トルコ株式市場が下落したことに加えて、トルコリラが対円で下落したことが基準価額の押し下げ要因となりました。

■投資環境

米貿易摩擦に対する懸念や、シリアのアサド政権による化学兵器使用疑惑を受け、同国への軍事行動をトランプ米大統領が示唆したことに加え、エルドアン大統領の金融政策への関与を強めるとの発言などを受けてトルコ株式市場は期初から大きく下落しました。2018年６月の大統領選挙では、現職のエルドアン大統領が再選を果たしましたが、新内閣の国庫・財務相に娘婿のアルバイラク前エネルギー相を起用したことが嫌気されました。また、トルコ中央銀行が市場の利上げ予想に反し７月の政策金利を据え置いたことで中央銀行の独立性が不安視され、８月には米国人牧師の拘束問題により対米関係が悪化したことなどを背景に、トルコリラの下落が加速しました。９月の金融政策委員会で、中央銀行は、事前予想を大きく上回る利上げを行い、政策金利を24.0％とすることを発表しました。これを好感し、トルコ株式市場は買われました。しかしその後は、トルコ国内のインフレ加速や、グローバル株式市場の不安定な値動きに連られ、弱含む展開となりました。年が明けると、グローバル株式市場の上昇や、原油価格の下落などを背景に、大きく反発して期末を迎えました。

トルコリラは、株式市場と同じく、トルコの地政学リスクの高まりや、政治的な問題等が嫌気され、期の前半に大きく下落しました。その後、９月の利上げが好感されて反発しましたが、期を通しては、対円で下落しました。

イスタンブール100種指数の推移

為替レートの推移

（注）為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

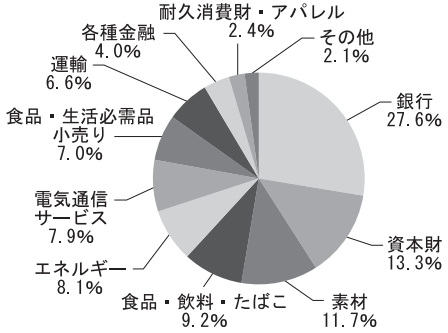
■当該投資信託のポートフォリオ

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持し、期末の組入比率は97.0%となりました。

・主な購入銘柄
軍用・民間用通信機器の設計・製造会社のAselsan Elektronik Sanayi Ve Ticaret A.S.や、菓子メーカーのUlker Biskuvi Sanayi AS等を購入しました。

・主な売却銘柄
液化プロパンガス販売会社のAygaz A.S.等を売却しました。

業種別構成比率



（注１）比率は、第８期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。
（注２）端数処理の関係上、構成比合計が100%にならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

トルコ中央銀行は、先行きのインフレ見通しが著しく改善するまで引き締め的な政策スタンスの維持を示唆しています。また、国際政治面では、シリア情勢やトルコによるロシアからの武器購入を巡り対米関係の悪化が懸念されます。一方、2019年３月末に行われた統一地方選挙は、エルドアン政権が一定の信任を得た形となり選挙による不透明感が払拭されたことは市場でポジティブに評価されると考えられます。

中期的な視点においては、トルコ経済の高い成長モメンタムへの期待から、トルコ株式市場は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

○１万口当たりの費用明細

（2018年３月６日～2019年３月４日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	1	0.014	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(1)	(0.012)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(b) その他費用	29	0.368	(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(29)	(0.366)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	30	0.382	
期中の平均基準価額は7,817円です。			

（注１）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注２）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2018年３月６日～2019年３月４日）

株式

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
		百株	千トルコ・リラ	百株	千トルコ・リラ
外国	トルコ	1,790	3,564	12,998	12,350
		(20,737)	(2,661)	(9,800)	(1,452)

（注１）金額は受渡代金。
（注２）単位未満は切捨て。
（注３）（ ）内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	トルコ	口	千トルコ・リラ	口	千トルコ・リラ
	IS GAYRIMENKUL YATIRIM ORTAK	－	－	1,150,000	1,222
	IS GAYRIMENKUL YATIRIM ORTAK(NEW)	－ (62,630)	－ (－)	－	－
	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	－	－	1,117,000	2,034
	小計	－ (62,630)	－ (－)	2,267,000	3,257

（注１）金額は受渡代金。
（注２）買付（　）内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2018年３月６日～2019年３月４日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	380,970千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,903,334千円
(c) 売買高比率（a）／（b）	0.20

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注３）邦貨換算金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

（2018年３月６日～2019年３月４日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年３月４日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末) 株数	当期末 株数	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	業種等
（トルコ）	百株	百株	千トルコ・リラ	千円	
AKBANK T.A.S.	10,120	12,170	8,093	169,063	銀行
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	1,180	1,180	1,102	23,023	耐久消費財・アパレル
ALARKO HOLDING	340	661	187	3,926	資本財
ANADOLU EFES BIRACILIK VE	640	640	1,283	26,819	食品・飲料・タバコ
ANADOLU CAM SANAYII AS	4,330	4,330	1,407	29,397	素材
ARCELIK A.S.	470	470	974	20,363	耐久消費財・アパレル
ASELSAN ELEKTRONIK SANAYI	—	1,240	2,956	61,754	資本財
AYGAZ AS	680	—	—	—	公益事業
ENKA INSAAT VE SANAYI AS	2,850	3,097	1,555	32,486	資本財
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	7,300	6,530	5,883	122,906	素材
KOC HOLDING AS	2,430	2,270	4,176	87,253	資本財
MIGROS TURK TAS	290	290	448	9,365	食品・生活必需品小売り
PETKIM PETROKIMYA HOLDING AS	3,250	2,816	1,560	32,589	素材
PINAR ENTEGRE ET VE UN SANAY	2,041	2,041	1,239	25,886	食品・飲料・タバコ
SODA SANAYII	1,802	1,552	1,200	25,071	素材
TOFAS TURK OTOMOBIL FABRIKA	580	580	1,230	25,710	自動車・自動車部品
TRAKYA CAM SANAYII AS	3,843	4,251	1,653	34,550	資本財
TURKIYE SINAI KALKINMA BANK	10,918	12,738	1,082	22,618	銀行
TURK TUBORG BIRA VE MALT	1,896	1,896	1,920	40,123	食品・飲料・タバコ
TURK HAVA YOLLARI AO	3,940	3,050	4,260	89,009	運輸
TURKCELL ILETISIM HIZMET AS	4,941	4,161	5,800	121,173	電気通信サービス
TURKIYE GARANTI BANKASI	9,740	9,030	7,946	166,000	銀行
TURKIYE IS BANKASI-C	7,570	6,860	3,958	82,687	銀行
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	670	492	6,991	146,048	エネルギー
ULKER BISKUVI SANAYI	—	550	1,048	21,910	食品・飲料・タバコ
YAPI VE KREDI BANKASI	6,170	6,274	1,305	27,261	銀行
HACI OMER SABANCI HOLDING	4,165	3,765	3,399	71,021	各種金融
COCA-COLA ICECEK AS	700	700	2,409	50,332	食品・飲料・タバコ
BIM BIRLESIK MAGAZALAR AS	640	640	5,574	116,449	食品・生活必需品小売り
TURKIYE VAKIFLAR BANKASI T-D	3,110	2,640	1,327	27,740	銀行
TAV HAVALIMANLARI HOLDING AS	695	525	1,436	30,006	運輸
TEKFEN HOLDING AS	360	360	932	19,477	資本財
TURK TELEKOMUNIKASYON AS	2,270	1,860	967	20,204	電気通信サービス
ENERJISA ENERJI AS	1,058	1,058	615	12,850	公益事業
合計 株数・金額	100,991	100,721	85,930	1,795,085	
合計 銘柄数＜比率＞	32	33	—	＜96.4%＞	

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）邦貨換算金額欄の＜　＞内は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
（注３）株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ)		口	口	千トルコ・リラ	千円	%
IS GAYRIMENKUL YATIRIM ORTAK		1,271,754	184,384	189	3,967	0.2
EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI		1,394,000	277,000	418	8,737	0.5
合計	口数・金額	2,665,754	461,384	608	12,704	
	銘柄数<比率>	2	2	－	<0.7%>	

(注１) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注２) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。
(注３) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年３月４日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	1,795,085	96.4
投資証券	12,704	0.7
コール・ローン等、その他	54,997	2.9
投資信託財産総額	1,862,786	100.0

(注１) 評価額の単位未満は切捨て。
(注２) 当期末における外貨建資産（1,822,990千円）の投資信託財産総額（1,862,786千円）に対する比率は、97.9%です。
(注３) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、１トルコ・リラ＝20.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年３月４日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,862,786,577
コール・ローン等	54,996,110
株式(評価額)	1,795,085,472
投資証券(評価額)	12,704,995
(B) 負債	269
未払利息	74
その他未払費用	195
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,862,786,308
元本	2,444,689,436
次期繰越損益金	△ 581,903,128
(D) 受益権総口数	2,444,689,436口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	7,620円

(注１) 信託財産に係る期首元本額2,800,746,262円、期中追加設定元本額314,931,356円、期中一部解約元本額670,988,182円
(注２) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳
ライジング・トルコ株式ファンド 2,209,422,488円
ＵＢＰトルコ株式ファンド 235,266,948円
(注３) 期末における１口当たりの純資産総額 0.7620円

○損益の状況 (2018年３月６日～2019年３月４日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	81,078,941
受取配当金	81,109,195
支払利息	△ 30,254
(B) 有価証券売買損益	△1,014,825,079
売買益	92,368,556
売買損	△1,107,193,635
(C) 保管費用等	△ 7,618,442
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 941,364,580
(E) 前期繰越損益金	323,114,626
(F) 追加信託差損益金	△ 96,691,356
(G) 解約差損益金	133,038,182
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	△ 581,903,128
次期繰越損益金(Ｈ)	△ 581,903,128

(注１) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注３) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。